

令和4年度 港南区 運営方針期末振り返り

～ 愛あふれる♥ふるさと港南に ～

基本目標

- ・ 地域の皆さまと協働でつくる「安全で誰もが安心して元気に暮らせるまち」
- ・ 区民生活の基本となる「行政サービスを正確・丁寧に提供する区役所」

主な事業・取組の期末振り返りの状況

1 安全・安心のまちづくり

自分の身は自分で守る「自助」、となり近所の助けあいなどの「共助」への理解が進むような啓発を積極的に行い、地域・事業者との連携により、安全・安心のまちづくりを進めます。

【具体的な取組】

災害に強いまちづくり

- ・ 地域防災拠点や風水害避難所への感染症対策物品の配備を進めます。
- ・ 電話の自動音声により避難場所の開設情報等を確認できる緊急時情報伝達システムを活用します。
- ・ 食料や飲み水の備蓄に加え、トイレパックの備蓄や家具転倒防止対策の充実により、いざという時にも住み慣れた自宅での避難ができるような「在宅避難」の備えをPRします。
- ・ 避難所における動きをゲーム感覚で体験できる避難所運営ゲーム（HUG）及び体育館・学校見取り図をセットにして全ての地域防災拠点に配布します。
- ・ 区民の防災・減災意識の向上のため防災講演会を開催します。
- ・ いざというときに、災害時要援護者（避難誘導や避難生活などで支援が必要な方）への支援が円滑に行われるように、地域の中での取組をサポートします。
- ・ 福祉避難所版 HUG（避難所運営ゲーム）を活用し、福祉避難所運営訓練の充実を図ります。

【達成状況】

- ・ 感染症対策用のマスクやアルコール消毒液を更新（2月）。
- ・ 区内の避難指示や避難場所の開設・混雑情報を自動音声で確認できる緊急時情報伝達システムの試験放送を実施（6月、8月、12月に各1週間）。
- ・ 在宅避難啓発リーフレットを3年ぶりに改訂（3月）。また、広報よこはま防災特集（9月）、出前授業や各種研修等を活用し、「在宅避難」の重要性や備えについて周知。
- ・ 区内全ての地域防災拠点に HUG 及び体育館・学校見取り図一式を配付（3月）。
- ・ 「区民ひとり一人ができる災害への備え」をテーマに防災講演会を実施（2月28日）するとともに、字幕や手話通訳を追加編集した動画を横浜市 YouTube アカウントで配信（3月28日～）。
- ・ 小学生親子を対象にした市民防災センター見学等のイベント「ひまわり防災イベント」を港南消防署と共催（8月18日、19日）。
- ・ 「災害時要援護者支援パンフレット（障がい者編・支援者編・風水害編）」を改訂、配布（3月）。
- ・ 新規啓発物品として災害時要援護者支援啓発クリアファイルを作成し、地域防災拠点運営委員長、自治会、支援者等に配布（5月、3月）。
- ・ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会において、地域防災拠点訓練への災害時要援護者の参加を呼びかけるとともに、参加事例を共有（5月、3月）。

安全で快適な生活の推進

- ・ ペットの飼い主向けの災害対策講習会を開催します。
- ・ 動画やパネルを活用した食中毒予防の啓発を行います。

- ・ 港南公会堂で人とペットの災害対策の講演会をオンライン配信及び聴講式で実施（2月）。
- ・ 区民ホール、港南台バースにて食中毒予防啓発展示を開催。食品衛生クイズ、アンケートを実施（9月、10月、11月、1月）。

防犯・交通安全の推進、子どもの見守り

- ・特殊詐欺の被害や子ども・高齢者の交通事故を防ぐため、地域や警察と連携した取組を進めます。
- ・ふだんの生活の中で登下校時（8時頃と3時頃の子どもの見守る環境づくりを行う「港南ひまわり83（ハチサン）運動」を地域全体で進めます。

- ・港南公会堂前広場・区役所1階区民ホールで、規模を縮小し複数日に分散する工夫をして啓発キャンペーンを実施（7月：4回、11月、12月各1回）。
- ・港南台バースで開催された港南台イロドリフェスタにて港南警察署・港南消防署と協力して、安全安心まちづくりのブースを設置し、啓発活動を実施（10月）。
- ・コロナ禍により参加を見合わせていた合同パトロールへ2年ぶりに参加（10～12月）。
- ・区会議室にて交通安全シルバーリーダーを対象とした交通安全啓発関係アトラクション体験会（交通安全シルバーフェスタ）を開催（12月2日）。
- ・三菱UFJ銀行主催で上大岡駅周辺にある金融機関と警察署、区役所合同で詐欺被害防止キャンペーンを実施（12月15日）。
- ・コロナ禍により中止していた安全安心まちづくり・ヨコハマ3R夢合同表彰式を4年ぶりに開催。当日は無印良品との協働で無印良品が販売している防災グッズを展示（3月16日）。
- ・新入学児童に向けて引き続き区内小学校に83太郎ランドセルカバー等交通安全啓発物品・チラシを配布（3月）。

2 見守り・支えあいのまちづくり

向こう三軒両隣に「お互い様」の関係ができ、いざというときにも助け合えるよう、様々な担い手による見守り・支えあいの輪が広がるような取組を進めます。

【具体的な取組】

高齢者や障害者の見守り・支えあい

- ・「あいさつ」や「声かけ」をきっかけにした、ゆるやかな見守りに協力してもらう見守り協力事業者への呼びかけを地域ケアプラザと連携して進め、皆さんの取組を「まちの見守り通信」として発信します。
- ・高齢者・障害者の方が一のお守り「ひまわりホルダー」の周知を進めます。
- ・幅広い世代の方に認知症の方への正しい理解と接し方を啓発するため、世界アルツハイマーデー（9月）に合わせ、港南区内を運行するバスに車内広告を掲載します。
- ・令和3年度にスタートした「第4期港南ひまわりプラン」の認知度向上を図り、地域における見守り・支えあいの取組を浸透させていくため、動画の配信や啓発を行います。
- ・誰もが一緒に楽しめるスポーツを通じた障害者と地域との交流支援や、区内事業所の紹介動画の制作・配信など、地域で障害理解を進める取組を行います。

【達成状況】

- ・見守り協力事業者の取組を周知するために、「まちの見守り通信」を2回、作成・発信したほか、地域ケアプラザや近隣の学校、障害福祉サービス事業所が区内事業者とともに見守り・支え合い取組を推進（新規登録21事業所）。
- ・「ひまわりホルダー」の取組を周知（新規登録525名）。
- ・幅広い世代の方に認知症の方への正しい理解と接し方を啓発するため、港南区内を運行する430台のバスに車内広告（9月）と、90台のバスに車内デジタルサイネージ広告（9月～11月）を掲載。
- ・『港南ひまわりプラン』の認知度向上に向け、動画と、ハローキティとコラボレーションしたクリアファイルを作成。動画を幅広い世代に見てもらえるよう、港南区内を運行するバスの車内広告として掲出（2月1日から3月31日まで、100台）するとともに、クリアファイルを区内小中学生等に配布（5,000部）。港南ひまわりプラン推進キャラクター「こなちゃん」のイラストを新たに30ポーズ作成し、区民の皆さまや活動団体の皆さまなどが気軽に活用できるよう、区ウェブサイト上で公開。
- ・誰もが一緒に楽しめるスポーツ（ボッチャ）のミニ大会を開催（10月、2月）。
- ・区内事業所7か所の紹介動画を制作。今後、YouTubeで限定公開を行う予定。

| | |
|---|--|
| <p>自治会町内会運営のサポート</p> <p>・地域でのつながりづくりの新たな仕組みとして、オンライン会議など ICT の活用を検討する自治会町内会に対し、ICT に関する相談・支援や機器導入費の補助などを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議等を行うためのパソコン・カメラ等の購入、自治会町内会館の通信回線工事等に対して補助を実施（12 団体）。 ・昨年度補助金交付団体に取材し、活用事例を広報。 ・LINE 活用講座を自治会町内会が希望する場所に出向いて実施をすることで受講しやすい環境づくりに配慮。 |
| <p>青少年の健全育成</p> <p>・「こうなん子どもゆめワールド」の開催など、子どもたちの夢や希望を応援する取組を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・出店を伴う「こうなん子どもゆめワールド」を3年ぶりに開催（11月5日、来場者1万人）。ステージ発表の一部をライブ配信。おまつりの中で、メタバース体験会も実施。 ・ひまわりミュージックフェスタを3年ぶりに有観客で開催（1月21日）。 ・ゆめ応援講演会を3年ぶりに有観客で開催し、ライブ配信（2月18日、参加者約460人）。 |
| <p>3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり</p> <p>「健康アクションこうなん5」の実践を呼びかけ、誰もが健やかに、健康寿命を延ばす取組を進めます。また、医療・介護・介護予防・生活支援等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めます。</p> | |
| <p>【具体的な取組】</p> | <p>【達成状況】</p> |
| <p>健康アクションこうなん5の推進</p> <p>・働き世代の健康づくりを進めるため、事業者の皆さまと一緒に「健康経営」に取り組めます。</p> <p>・野菜摂取量を測定できる「ベジメータ」を活用し、野菜を通じた健康づくりを支援します。</p> <p>・「健口体操」のリーフレットや動画により、オーラルフレイル（お口の機能の低下）の予防・啓発を進めます。</p> <p>・がん検診受診率向上のため、受診勧奨リーフレットを区内医療機関で配布するほか、働き・子育て世代に向け、区役所肺がん検診においてインターネットでの受付や一時保育を実施します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・希望する健康経営認証事業者に対し、健康づくりに関する出前講座を行うとともに、認証の更新が必要な事業所に対し申請のサポートを実施（区内健康経営認証事業所：61事業所）。 ・「ベジメータ」を活用した野菜摂取量の測定会を行い、食育月間や乳幼児健診、地域での健康啓発事業等で野菜摂取の必要性について普及啓発を実施（1,500人以上を測定）。 ・オーラルフレイルの予防のため、区歯科医師会と連携して作成した「健口（けんこう）体操」のリーフレットと動画を区ウェブサイト上に公開するとともに、地域での出前講座を実施（19回、380人）。また、「健口体操」のリーフレットでは、オーラルフレイル予防のためにかかりつけ歯科医を持つことも啓発。 ・区内医療機関においてがん検診受診勧奨リーフレットを配布したほか、乳幼児健診時に保護者向け骨密度測定と併せてパネルや乳がんモデルを展示し啓発を実施。また、ラッピングバスによるがん検診・特定健診の受診啓発を実施（12月から3月）。 |
| <p>切れ目のない子育て支援</p> <p>・妊娠期から出産、乳幼児期、就学時にわたり、子育てに関する相談や情報発信など親子に寄り添った切れ目のない支援を充実させていきます。また、虐待等への職員の対応力を向上させます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・育児不安軽減のため、HP での発信や LINE を活用した子育て情報のプッシュ型配信を実施。 ・養育者が身近な居場所で育児相談ができるよう、支援者のスキルアップを図るため、ペアレントトレーニングを活用した研修会を実施。 ・子育て関係機関及び関係者向けにネグレクトに対する研修会を実施するとともに、区職員に対し、外部講師による事例検討を |

| | |
|---|---|
| | 行い、支援力向上の取組を推進。 |
| 高齢者が自分らしく暮らせるような支援 ・高齢者が自分らしく安心して生活できる地域づくりを進めるため、認知症や介護予防、権利擁護の普及啓発を行います。 ・買い物が困難な高齢者等の支援を目的として、事業者と地域が連携した移動販売を支援します。また、移動販売を通じて、外出機会の促進や社会参加、介護予防等につながる取組を進めます。 | ・認知症の方への正しい理解と接し方を啓発するため、区民向け講演会を実施(10月)。 ・介護予防を推進する人材のスキルアップやモチベーションを高めるため、体操指導者研修会を実施(9月、10月)。 ・エンディングノートの普及啓発を図るため、書き方講座を含む映画上映会を実施(10月)。 ・区内約30か所で実施されている移動販売を支援し、地域の見守り支援を推進。移動販売等をきっかけとした集いの場の支援を実施。 |
| 読書活動の推進 ・「港南区読書活動推進目標」に掲げる「つなぐ」「はぐくむ」「ひろめる」の実現を目指し、親子を対象としたわらべうたと絵本の講座や講演会等、地域で読書に親しむ事業を実施します。 | ・乳幼児と保護者を対象に「わらべうたと絵本を親子で楽しもう！」講座を3か所で実施(港南図書館、桜道コミュニティハウス、日野南地域ケアプラザ各3回計9回、延162人参加)。 ・講演会「お話しコンサート」を実施(11月)。 ・出張お話し会(港南台バース、ひまわりの郷他、計6回)や市立図書館カード出張登録会(11月)・移動図書館特別運行(2月)を実施(港南台地区センター)し、読書に親しむ機会を提供。 |
| 4 住み続けたいまちづくり SDGsの視点をふまえ、地域の美化活動やごみの減量化、食品ロス削減、プラスチック対策、地球温暖化対策等の普及啓発を行います。また、歩行者の安全に配慮したまちづくりを進めるとともに、まちの魅力を発見・発信し、地域への愛着を高める取組を行います。 | |
| 【具体的な取組】 | 【達成状況】 |
| 街並みのクリーンアップ ・河川のクリーンアップや、道路・公園など地域の中で美化活動をする皆さんの取組を支援します。 | ・4か所、6回の河川クリーンアップを実施(参加者1,510人、回収量5,780kg)。 ・5か所、6回の競技形式を含めた、道路や駅前周辺の吸い殻等の地域清掃の実施(参加者371人、回収量370kg)。 ・公園愛護会への各種講習や花壇づくり・樹名板づくり等支援を実施(2公園)。 ・ハマロードサポーターに活動支援物品を配布(19団体)。 |
| ヨコハマ3R夢プランの推進 ・小・中学生を対象にした3R夢動画コンテストやプラスチック削減をテーマにした講演会などによる啓発を進めます。 | ・地域スーパー店頭や小学校、保育園での3R夢啓発を実施(計23回)。 ・区役所及び港南事務所にフードドライブ窓口を常設し、837件、218kg受付。 ・食品ロス削減講演会を開催(12月)。 ・プラスチック削減啓発講演会を開催(9月)。 ・動画版ポスターコンクール「3R夢動画コンテスト」を実施(8月)。応募総数28作品、優秀11作品選定し配信(11月)。 |
| 歩行者の安全に配慮したまちづくり ・公道の階段に手すりの設置・補修を行うことなどで、安心して外出できる環境づくりを進めます。 | ・公道の階段への手すり設置・補修(9か所)。 ・通学路の安心カラーベルト新設・補修(約1,110m)。 ・交通安全施設等補修(22か所)。 |

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの安全を確保するため、通学路の安全施設や路面表示の新設・補修を進めます。 | |
| <p>温暖化対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 省エネや節電に対する意識を高め、行動変容を促すため、区内企業等と連携した一斉消灯を実施します。 港南図書館や区内商業施設等での地球温暖化対策パネル展等で省エネを啓発します。 | <ul style="list-style-type: none"> 区内保育園（18園）、小学校（7校）及び商店街（4店舗）で「緑のカーテン」を実施。 夏季（7月13日～8月10日 計7回）及び秋季（11月16日～12月21日 計6回）に港南公会堂前広場等で、地元港南区産野菜の直売会「ビタミン満菜市」を開催。 商店街（2か所）と連携した打ち水を実施（8月23日）。 区民の省エネや節電に対する意識を高め、行動変容を促すため、区内企業等と連携した一斉消灯を実施（10月29日、協力企業12社）。 家庭でできる省エネの取組を啓発する「省エネチャレンジ港南」を実施（12月12日～23日、参加者84人）。 SDGsの視点も取り入れ、小学生とその保護者を対象とした環境学習講座を開催（12月3日 参加者14組29人、1月28日 参加者27組54人）。 横浜市地球温暖化対策推進協議会と連携し、廃食油回収を実施（720ℓ回収）。 区民利用施設での省エネ、節電を推進するため、LED照明の切り換えを実施（8施設）。 |
| <p>まちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 「港南区デジタル観光マップ」による情報発信や区オリジナルの婚姻届受理証明書、デジタルフォトフレームの作成など、区役所を身近に感じていただける取組を進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> こどもまち自慢の写真とコメントを募集し、投稿スポットを港南区デジタル観光マップに掲載（応募者101人）。 港南区デジタル観光マップに掲載中の区内15か所をスタンプスポットにしたデジタルスタンプラリーを実施（参加者79人、特典応募51件）。 区オリジナルデザインの婚姻届受理証明書（発行数27件）とARフォトフレームを作成（利用者605人）。 |
| <p>5 正確・丁寧な行政サービスの提供</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応を最優先の業務としてとらえ、区の総力を挙げて取り組んでまいります。区民の皆さまを心をこめて温かくお迎えし、「来てよかった」と感じていただける区役所づくりを進めます。区民生活の基本となる行政サービスを、お一人おひとりの気持ちに寄り添い正確・丁寧に提供します。</p> | |
| <p>【具体的な取組】</p> | <p>【達成状況】</p> |
| <p>新型コロナウイルス感染症への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症に関する情報提供や相談対応、区庁舎等における感染予防などに区を挙げて取り組みます。 | <ul style="list-style-type: none"> 職場間の応援を含め人員体制を整え、各種相談対応や発生届に基づく本人への聞き取り、健康観察、高齢者施設等への感染拡大防止指導、入院、宿泊施設調整及び安否確認など、健康福祉局や医療機関と連携して実施。 正確、丁寧な情報提供の取組として、区ウェブサイトによる案内や新型コロナウイルス感染症に係る濃厚接触者向け動画を配信。 ワクチン接種にかかる集団接種会場への応援や区庁舎相談窓口の運営を関係機関と連携して実施。 |

| | |
|--|--|
| <p>区民生活の基本となる行政サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手続きが関連する窓口が連携し、区民の皆さまの利便性向上に努めます。 ・支援を必要としている方々に対して、各窓口や関係機関が連携して各種制度を的確に運用し、一人ひとりに寄り添った支援を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に実施した区役所窓口サービスアンケートの結果では、約9割の方に、「丁寧でわかりやすい言葉遣いだった」との評価をいただきました。引き続き窓口サービスの向上に努めてまいります。 ・課を超えた窓口の連携や相談に対応する支援技術の向上に向け、情報共有と研修を実施。 ・支援力の向上を目指し、各種制度の理解を進めるための講座や関係機関との研修を随時開催。 ・各種会議などを活用し、区役所内外の関係機関との情報共有・連携強化を進め、支援を必要としている方へ多方面からのアプローチを実施。 |
| <p>わかりやすい情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民の皆さまに「寄り添った」窓口対応、「伝わる」広報に取り組みます。 ・広報よこはまや区ウェブサイト・SNS など様々な媒体を活用して適切・的確な情報発信を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま区版、ウェブサイト、区民生活・防災マップ等を活用し、区政情報や生活に必要な情報などをわかりやすく提供。 ・区ウェブサイトにて区民の皆さまの活動や地域イベントの様子などを紹介する「まち・ひと・ダイアリー」で情報を発信。 ・地域密着型アプリ「ピアッツァ」、ツイッター、LINEの公式アカウントに加え、新たに行政情報スポット(デジタルサイネージ)を区内6か所に設置し、タイムリーに区政情報を発信。 |